

すざか

2

No.526



祝 成 人

平成18年成人式

今年度は652名の皆さんが成人式を迎えられました。

会場のいたる所で友人との再会を懐かしむ姿が見られました。

(関連記事2ページ)

目次

- P2** 平成18年成人式
- P3** いきいき公民館(『須坂カルタ』の歴史講座とカルタ大会) 歴史を探访しよう(吉向焼と焼き窯)
- P4** 郷土の先人たち(勝山直久) どんど(ん)焼き
- P5** わくわく公民館
- P6** 生涯学習だより(生涯学習まちづくり出前講座)
- P7** 生涯学習だより(サークル訪問 他)
- P8** 博物館だより
- P9** 図書館だより
- P10** すざか女性未来館・社会教育団体からのお知らせ



白樺湖へ何十年ぶりに行った。みたらし遊園地ができていた。山ぎわを見ると英国の宮殿にでてくる衛兵の人形が立っていた。その景色に違和感を感じるのは私だけなのだろうか▼他県の人達が長野県へ来るのには理由がある。その一つに他県に比べて自然に恵まれているということが挙げられる▼個性のある町づくり、誇れる町づくりなどと言われているが、意外とこの特質をおろそかにし、信州にテemapパークなどを作るような方向に行きがちだが、自然とマッチするだろうか▼長野に来る多くの観光客は都会のケバケバした風景や景観よりも自然を求めてくる場合が多いと思う。自然を保護する方向に力を置き、自然を残しそれを財産とした方が、魅力ある町づくりへの近道ではないだろうか▼名古屋から須坂を訪れたという観光客に「この景色は何百億円何十年かけても造れないですよ」と言われたのが印象に残っている。できることなら、この自然と景観がいつまでも残っていてほしい。長野にとっても、須坂にとってもそれが財産なのだから。

がりがり山

大人の階段上る青年たち

須坂市 成人式



1月8日(日)に須坂市文化会館メ
セナホールで平成18年須坂市成人
式を挙行了しました。

今年は652名が成人を迎えられ、
541名の方が成人式に出席されま
した。

式典では三木市長から「人間には
誰しも間違いがあると思います。そ
のことを素直に認めることが本当の
勇気だと思います。一人ひとりが勇
気をもった対応をしていくことが大
事です」と、新成人へ期待を込め、
激励のあいさつがありました。

また、新成人を代表して佐藤雅晴
さんが「これからは各人が良識ある
行動をとると共に、自分のことだけ
でなく思いやりの心を高めながら周
囲のことや住んでいる地域、須坂市
のこと、広く日本や世界のことに
目を向けていきたいと思っています。
これからいろいろな壁にぶつかり、挫
折を味わうこともあると思いますが、
その事実から逃げずに真剣に取り組
み、常に自己を磨くことを忘れず
社会に貢献できるよう頑張りたいで
す」と、二十歳になつての決意を述
べられました。

↓代表で記念品を受領する
小田切麻美さん



↑成人者代表あいさつを
する佐藤雅晴さん

式典が終了した後は、12名の新成
人スタッフが中心となり企画・運営
したアトラクションが行われました。
小・中学校時代の卒業学年親善音
楽会の様子を映した『思い出のビデ
オ』上映では、恩師の方々が登壇さ
れ、お祝いの言葉を述べられました。
クイズ『20歳のための4択問題』
では、社会人として知っておきたい
常識問題など8問が出題されました。
アトラクション終了後は恩師や旧
友と記念写真を撮ったり、談笑しな
がら久しぶりの再開を懐かしんでい
ました。

成人式アトラクション実行委員
長の竹前良彦さん、代表で記念品
を受領された小田切麻美さん、成
人者代表あいさつをされた佐藤雅
晴さんに成人式の感想をお聞きし
ました。

Q1. スタッフをやってみての感想
は？

【竹前】 僕たち新成人のために本当
にたくさんの方の努力と協力を頂い
ているんだと、直に感じることで
き、大変貴重な経験になりました。

【小田切】 スタッフをやらせて頂い
たことで『成人になったんだ』と、
強く認識し成人式に臨めました。ま
た、素敵な仲間もできました。成人
式が終わってしまったて、少し寂しい
です。

【佐藤】 最初は皆顔見知りではない
ので不安でしたが、打合せの回数を
重ねる毎に仲良くなり、うまく企画
が進められて良かったです。

Q2. 自分たちの手で作り上げた成
人式の満足度は？

【小田切】 100%です！スタッフ
全員の努力が詰まっています、とても
素敵な成人式になったと思います。

【佐藤】 数少ない打合せの中、皆で
協力しあい実行委員長を中心に話し
合いました。成人式が終わった後、
満足感はひとしおでした。

【竹前】 多少のトラブルはありまし
たが、スタッフ全員で力をあわせ、
ほぼ計画通りに進められたので満足
しています。もう一度成人式をや
りたいと思いました。

Q3. 二十歳を迎え、どんな大人に
なりたいたいですか？

【佐藤】 これからも色々な人に関わ
っていくので、感謝の気持ちを忘れ
ず、また自分の夢を追いかけて走
ていきたいと思っています。

【竹前】 自分の夢に向かい努力を継
続できる大人になりたいです。そし
ていつかその夢を実現したいと思
います。

【小田切】 素敵な大人になりたいで
す。成人になり、たくさんの方の権利と
共に義務も負うようになりました。
しっかりと責任を持ち、自由に生き
ていきたいです。



12人の新成人スタッフと総合司会の青木さん(左上)
(青木さんは前年のスタッフの1人)

市立図書館で1組1500円にて販売しています。



最近、お正月でもTVゲームで遊ぶ子どもが多いようで、カルタに接する機会も少なくなっています。そこで『須坂カルタ』を使い、遊びを通じて、自分の住む地域や市内の名所・史跡など知ってもらおうと、豊丘地域公民館と豊丘ブロック育成会・分館が共催で開催しました。

須坂カルタは市内各地の歴史や観光、名所などを題材にしたカルタで、絵札には切り絵が使われています。

1月11日(水)に須坂カルタを使った歴史講座とカルタ大会を豊丘地域公民館で開催しました。

『須坂カルタ』の歴史講座とカルタ大会

地域の名所をカルタで知る



講師の滝沢さんは「カルタ遊びを通じて子どもたちが地元のことに興味をもつ良い機会になれば嬉しいです。また、引越してこられた方も分かるよう読み札の裏に解説もあるので、子どもだけでなく多くの方に遊んでほしいです」と話されました。

また、英訳したカルタもあり、すでに何名か購入されたそうです。須坂が国境を越えて広く知られるのもう間近かもしれません。

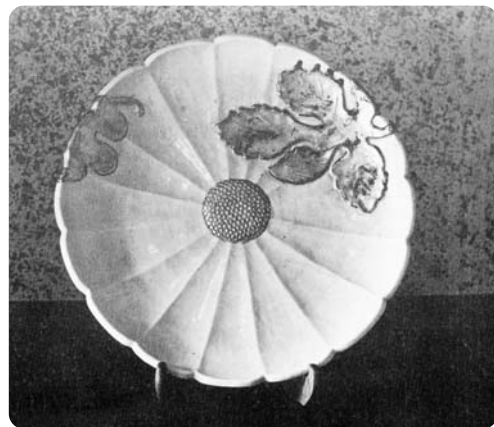
当日は17名の子どもたちが参加し、カルタを楽しみました。

須坂カルタ作成委員長の滝沢和久さんが講師となり、カルタの絵札に描かれた名所などの解説やカルタの遊び方を説明しました。



何枚とれたかな？

説明が一通り終わると、子どもたちお待ちかねのカルタ大会が始まりました。4〜5人のグループを作り、個人戦で最終的に取った絵札の枚数を競いました。



田中本家博物館に展示されています

残された秀作 吉向焼

吉向焼

と

焼き窯

歴史を探訪しよう

吉向焼は1800年頃に大阪で開窯しました。1845年に初代吉向は須坂藩第11代藩主・堀直格なむたかに招かれ、弟子たちを引き連れ須坂を訪れ、鎌田山（坂田町字大和合）に焼き窯を作りました。それ以降、1853年の閉窯まで数々の作品が製作されました。

吉向は晩年期を須坂で過ごし、この頃が吉向の技術がもっとも円熟した時期であるといわれ、須坂には秀でた作品が多く残されています。



吉向焼が焼かれていた窯

この窯は初代吉向と弟子たちが3か月を費やし築きあげたもので、吉向が滞在した9年間、吉向焼を作っていました。

昭和41年、馬場町青少年健全育成会が事業の一環として吉向焼窯跡の発掘調査を行いました。その結果、全長40mに及ぶこの焼窯は、県内随一の登窯だと判明しました。

吉向が江戸に帰ったあとは、小田切辰之助が窯を引き継ぎ、4〜5年間日用雑器を焼きました。（須坂焼と呼ばれろ）

吉向焼窯跡は、昭和54年8月に登窯の一部が復元され、現在に至っています。

吉向焼窯跡

郷土の先人たち

4

ふるさとの発展に尽くした人や、多くの功績を残した人々を毎月1人ずつ紹介していくコーナーです。

郷土の発展に尽くした大政治家

勝山 直久 (1864~1928)

元治元年、都住村(現 小布施町都住) 六川の陣屋・堀敬久の三男に生まれ、明治9年に沼目村勝山家の養子となりました。青年時代から政治に関心を持ち、須坂町の同志と一緒に「振起会」という政治研究会を作って自由党に加盟しました。明治20年、政治を志して上京し自由党の小川平吉と親交を深め、政治家として活躍するための基礎を培いました。また、農業の改良にも力を注ぎ、肥料の研究を始めとして農業経営の向上に専念しました。特に家畜の利用に着眼し、家の西側に厩舎を建設して馬を飼い農耕に利用しました。これには当時の人々は大変驚いたといひます。

明治32年、上高井郡会議員に選出され参事会員となり、以後3回にわたり当選して郡に尽くしました。同



36年には長野県議会議員に当選し、すぐに県参事会員となつて活躍しました。在職中は千曲川の水害予防に力を入れ、右岸(現在の村山町グラウンド付近)に堤防を築いて多くの水害を防ぎました。現在でも村山の人たちは堤防を「勝山出し」と呼んでその功績を称えています。また、埴科郡の人々と相談して河東鉄道の計画もしていました。これはすぐには実現しませんでした。今日の長野電鉄線の基礎をつくつたといえます。この他にも県議会議員在職8年の間に県政に大きく貢献しました。

明治43年に日野村長に就任すると、多くの難題を解決して小学校を村の中心である現在地に移転新築、通学路も新設しました。消防団の活動区域を日野地区全域に拡大したほか、日野村青年会長・婦人会長に推され、社会教育の面にも力を尽くしました。

(担当 生涯学習課)

年の初めの伝統行事

どんど焼き

地域の伝統行事どんど焼きが各町ごとに開催されました。

各町で伝統的に行われているどんど焼き。今年も成人の日や小正月(1月15日)にあわせて各町のどんど焼きが行われました。

お正月に使った門松やしめ飾り、破魔矢、だるまなどを持ち寄り、青竹などを骨格にして櫓を組み、これに火を着けて焼きます。

『この火で書初めの紙が高く舞い上がると字が上手くなる』『どんど焼きの火で焼いた団子や餅を食べると病氣にかからない』など、様々ないわれがあり、昔の人々の信仰心や願いが込められていたことがうかがえます。



大きく組まれた櫓



無病息災を願ひ団子を焼きます

どんど焼きの『どんど』は火の勢いを盛んにする言葉と、神様を敬う『尊や尊』というはやし言葉が一緒になったという説があります。松飾やお札には神様が宿っているので『尊い』のだそうです。

市内のどんど焼きも地域によって多少の違いが見られます。山に近い地域では団子をつける枝はけやきの枝が多く使われ、川に近い地域では柳の木が多く使われているようです。また、町で一箇所に集まり櫓を組み町もあれば、集落毎に組む町もあります。

2月の母国料理講座のお知らせ

フィリピン共和国の代表的な家庭料理「カーディルユング エスタ」と「シーニガング ナ バーブイ」「ピーコ」を作ります。食後はフィリピンについていろいろ教えてもらいながら楽しく国際交流をしましょう。

- ☆と き 2月25日(土) 午前10時～午後2時頃
- ☆ところ すざか女性未来館 料理実習室
- ☆講 師 佐藤メルシーさん(フィリピン共和国出身)
- ☆材料費 1,000円程度 ☆持ち物 エプロン、筆記用具、布巾
- ☆申込み 2月6日(月) 午前9時から
市公民館 ☎245-1598

Waku Waku



Kominkan

地域文化祭のお知らせ

第11回 とよす文化祭

展示の部

- 【と き】 2月4日(土) 午前9時30分～午後4時
- 【展示内容】 書道、絵画、水墨画、俳句、陶芸、手芸、写真、豊洲小学校児童の書道作品などの展示

舞台の部

- 【と き】 2月5日(日) 午後1時～午後4時
- 【内 容】 舞踊、詩吟、カラオケ、マジック、豊洲小学校児童の発表など

☆会 場：豊洲地域公民館

☆問合せ：とよす文化祭実行委員会
豊洲地域公民館 ☎246-3232

井上ブロック文化祭

- 【と き】 3月4日(土) 午後1時～午後5時
3月5日(日) 午前9時～午後3時
- 【展示内容】 墨彩画、切り絵、盆栽、生け花、手芸作品、写真、絵画、陶芸、書道、パッチワーク、井上小学校児童の書道作品などの展示

☆会 場：井上地域公民館

☆問合せ：井上地域公民館 ☎246-2488

第27回 高甫ブロック文化祭

展示の部

- 【と き】 3月5日(日) 午前10時～午後4時
- 【展示内容】 書道、絵画、水墨画、陶芸、手芸作品、写真コレクション品、盆栽、生け花などの展示

芸能の部

- 【と き】 3月5日(日) 午後0時30分～午後4時
- 【内 容】 舞踊、詩吟、詩舞、謡曲、箏曲、木遣り、コーラス、ダンスなどの発表

☆会 場：高甫小学校体育館

☆問合せ：公民館第10ブロック文化祭実行委員会
高甫地域公民館 ☎248-1925

こどもすざか
未来大学

本校事業

星空観察会

冬は空気が澄んでいて
星空を眺めるには最適で
す。横たわるオリオン、
冬の星空、火星、土星な
どを観望します。



- と き：2月25日(土) 午後7時30分から
- ところ：須坂市公民館 3階ホール
- 講 師：「須坂ハイランド星を見る会」の皆さん
- 持ち物：筆記用具、暖かい支度でお出かけください。
- 定 員：30名(中学生以下は保護者同伴)
- 申込み：2月6日(月) 午前9時から
- 問合せ：市公民館 ☎245-1598

市民学園公開講座

演 題 「生活の中から経済を学ぶ」

講 師 信州大学教育学部助教授
栗原 久 先生

☆と き 2月18日(土)
午後2時～3時30分

☆ところ 須坂市公民館 3階ホール

☆問合せ 市公民館
☎245-1598
※入場無料



予
告

平成18年度

市民学園入園生募集!!

須坂市民学園では、公開講座・学級活動・クラブ活動の3つを柱として「出あい・ふれあい・学びあい」をモットーに多くの皆さんが活動しています。
(※申込み受付は3月中旬)



ご注文
お待ちしております。



団体などの役員の皆さん！
平成18年度の事業計画を立てる
時期になりました。
「生涯学習まちづくり出前講座」
のご活用を!!

生涯学習まちづくり出前講座は、5人以上の団体やグループのみなさんが、「知りたい」「学びたい」講座を選び注文すれば無料で受講できる講座です。

講座メニューには、一般個人や団体の方が得意の分野ごとに講師をしてくださる講座のほかに、市内企業の技術や製品が学べる工場見学の講座、市政などのご理解を深めていただくための講座など、健康問題、スポーツ関係、趣味づくりなど多彩な141メニューが用意されています。

出前講座メニューのパンフレットは、昨年10月に全戸に配布しております。お手元に無い場合は、最寄りの地域公民館でもおあげできますのでご利用ください。

〇〇〇 新たに追加された講座メニュー 〇〇〇

昨年10月に改訂したパンフレットの掲載メニュー数は139でしたが、その後、『市民編』に市民団体が講師となる下記の講座が加わり141講座のメニュー数となりました。

講座名 ザ・マジック 【No140】

講座概要

- ・マジックを観て、やってみて…そうそうの世界へようこそ
(注：「そうそう」とは想像と創造を意味します)
- ・笑い癒しとそうそうの世界を体験しましょう

講師団体名 すいせんマジックサークル

講座名 川柳教室 【No141】

講座概要

- ・川柳のつくり方及び実作指導
- ・新しい川柳、おしゃれな川柳を目指しています

講師団体名 すみさか川柳社

2/4(土)
PM1:30~

考えてみよう社会参加とは？ ボラネットの講演交流会で！

〔日 時〕 2月4日(土)午後1時30分~4時 (開場1時)

〔場 所〕 須坂市公民館 3階ホール

〔内 容〕 体験発表

演 題 「私たちにできること~国際ボランティアの現場から~」

発表者 藤沢 実果 さん(須坂市出身)
NICE(ナイス)日本国際ワークキャンプセンター
国際派遣事業部長

講 演

演 題 「民間主導の国際人物文化交流とは？」

講 師 小出 博治 氏 (社)長野国際親善クラブ会長

この交流会は、須坂市生涯学習ボランティアネットワークが主催する講演会です。

どなたでも無料で聴講できます。大勢の皆さんのご来場をお待ちしています。

問合せ先 生涯学習推進センター (☎245-1598)

生涯学習だより

新しい風、生涯学習。



生涯学習のマスコット
『マナビィ』

編集・発行／
須坂市教育委員会
生涯学習推進センター

No.72

『マレーシア外交官&舞踊団』との交流会

文部科学省の「子どもの居場所づくり事業」を受託している財五井平和財団が主催する地球っこ広場の『くりのこ』が、マレーシア大使館のロー参事官と同国民族舞踊団ムカール・ブダヤを須坂に招き下記の交流会を開催します。

- (と き) 2月11日(土) 午後2時～
 (ところ) ナガイホール
 (入場料) 無料 どなたでも参加できます
 ○外交官によるマレーシア紹介
 ○舞踊団によるダンスの披露
 ○歌・楽器と踊りの体験
 (問合せ) ☎248-3771(山浦)

放送大学講演会

◎演題 「ゴミから見えてくる人の行動心理」
 講師 放送大学長野学習センター
 所長 沖野 外輝夫 氏

◎放送大学卒業生による放送大学体験発表

(と き) 2月25日(土) 午後1時～3時

(ところ) 長野県勤労者福祉センター
 (長野市旭町)

☎026-233-3231

(主 催) 放送大学長野学習センター・
 放送大学長野同窓会

(参加料) 無料 どなたも参加できます

(問合せ) ☎0269-26-4611(吉池)

生涯学習推進員の サークル訪問③

南小河原町

サンタの会 の巻



①会の発足のきっかけ

平成14年の秋のこと。「クリスマスも近づいたが、もう何十年もプレゼントなどやったことがないよ…」「この歳になって贈り物をもらったことも、ねだられたこともない…」そんな町民の声に応えたのが、代表者の駒澤貞弘さんです。「じゃあ何か贈りたい物を持って来いよ。俺がサンタになって届けやろ!」。

有志5人が集まり、「サンタの会」が発足しました。町内有力者の資金的な援助もあり、衣装やイルミネーションなどの備品も調達することができました。

現在の会員は6名。プレゼントは地区全戸に呼びかけて、希望される家庭から品物を預かります。12



月上旬に公会堂と道沿いのお宅の木々をお借りして飾り付けられたイルミネーションが、気分を盛り上げます。あとは、当日を待つばかりです。

③会員の声

相互の努力と協力で、少しでも明るく楽しい一時を過ごせたらとの思いで毎年実行しています。お父さんからお母さんに、お母さんから子どもたちに。感謝の気持ちを添えてプレゼントを届けるのが使命です。

②いよいよ当日…

当日24日はまさにホワイトクリスマス。会員は公会堂に集まり、軽トラックに2軒ほどのツリーを飾りつけ、BGMを確認します。そして、赤い服を着てサンタクロースに変身。さあ出発です。

軽快なクリスマスソングを流した軽トラックを家の玄関につけます。そしてサンタのおじさんから贈り物を手渡します。



「ありがとう!!!」の心温まる声。中には、驚き泣き出したかわいいお子さんも。今回は特に寒い日でしたが、プレゼントを希望された10戸のどこのお宅にも、明るい笑顔がありました。

サンタさんと一緒に「ハイポーズ!」

④インタビューを終えて

終わった後、駒澤さんは「どんなボランティアでも細くとも長く続けることがモットーです」と言われました。訪問したご家族の喜びの姿を思い出すと頭が下がります。イルミネーションの輝きと明るい笑顔の輪が、今後も続けられ、まちの活性化につながることを祈念いたします。

(生涯学習推進員会広報部会：柳・牧(智) 記)



第10回



まるごと興国寺

臥竜山東山麓に古刹興国寺があります。須坂藩ゆかりの寺です。今回は、ご好意で興国寺の探検をさせていただきます。

【とき】 2月18日(土) 午前9時00分～

【ところ】 須坂市立博物館前 集合

【講師】 興国寺住職夫人
須坂市立博物館長 涌井二夫

【参加料】 小学生以上1人50円(保険料)

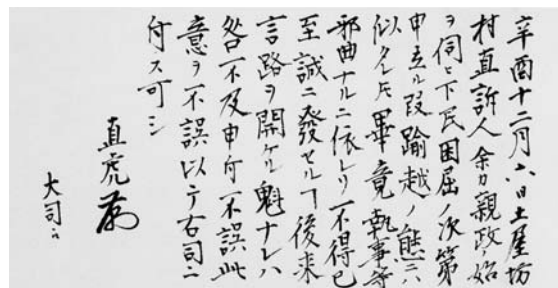
【定員】 30名

【内容】 ①まるごと興国寺Q & A(興国寺と須坂藩、禅寺の伽藍と仏像の見方、やしょうまについて等)
②庫裏、本堂(仏像)、山門(楼に登って)、経蔵、位牌堂、古地図等の見学・探検
③やしょうま作りミニ体験

【申込み】 前日までに市立博物館へお申込みください。
須坂市立博物館 ☎ 245-0407

* 普段見ることのできない寺の隅々まで、探検させていただきます。お楽しみに！

文書を読み解く楽しさ



大司江

直虎

辛酉十二月六日、土屋坊
村直訴人余り親政ノ始
ヲ伺ヒ下民困屈ノ次第
申立ル段、踰越ノ態ニハ
似タレ共、畢竟執事等
邪曲ナルニ依リ、不得已
至誠ニ發セルヲ後來
言路ヲ開ケル魁ナレハ
咎不及申付、不誤此
意ヲ不誤以テ右司ニ
付ス可シ

【解説文】

辛酉十二月六日、土屋坊
村直訴人余り親政ノ始
ヲ伺ヒ下民困屈ノ次第
申立ル段、踰越ノ態ニハ
似タレ共、畢竟執事等
邪曲ナルニ依リ、不得已
至誠ニ發セルハ、後來
言路ヲ開ケル魁ナレハ
咎不及申付、不誤此
意ヲ不誤以テ右司ニ
付ス可シ

直虎(花押)

大司江

丸山大司宛堀直虎書状(当館蔵)

この文書は第13代須坂藩主堀直虎が、家老の丸山大司(本政)宛に出したものです。藩政改革のきっかけともなった土屋坊村の直訴に対して、直訴人を咎めない旨の指示をしています。

春を呼ぶ特集展 ～開催の予定～

『春を謳う須坂藩のお難さまと叢譜 印籠・根付』
開催期間 3月3日(金)～5月7日(日)

カモが教えてくれる厳冬 — 臥竜山たんけんより —

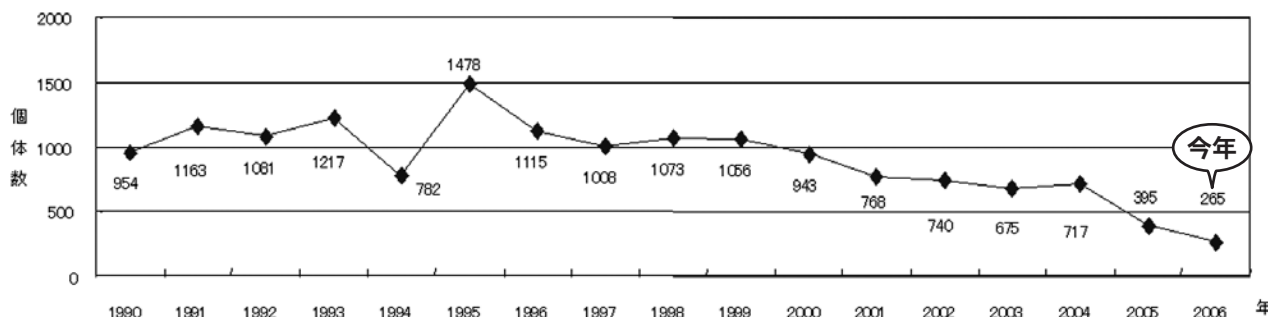
1月7日(土)に「シジュウカラとヒヨドリを探そう～冬の野鳥ウォッチング～」が開催されました。例年は臥竜公園に飛来してくるカモを中心に観察会を行うのですが、今年はカモの数が少ないこともあり、シジュウカラとヒヨドリなどの野鳥を主体に観察をしました。

それでは、今年のカモはどのくらい少ないのでしょうか。下のグラフは毎年1月7日前後に竜ヶ池にいるカモの数の推移を表したものです。グラフにはありませんが飛来するカモの種類には特に変化は無いようです。しかし自然環境の変化によるものなのか理由は不明ですが、見てのとおり個体数はこのところ年々減少する傾向にあります。

「いやあ、この大雪と寒さで、須坂には食べるものもないし、竜ヶ池はほとんど凍っているから、いくら須坂の人たちが毎年温かく迎えてくれるといっても、今年はちょっと住み心地が悪くてねえ。人間と違って、私たちには翼があるからねえ。カモだけじゃなくて、ツグミも山の鳥たちもとてあえず食べ物のある方へ行っているよ。ちょっと更埴の山を越えれば、雪なんかほとんどないからねえ」

案外カモたちはそんなことを言っているのかもしれない。

毎年1月7日ごろのカモの数



資料提供…長野自然観察の会 清水真弓 先生

図書館だより

開館時間 平日 午前9時～午後6時 ☎ 245-0784
 土・日 午前9時～午後5時 ☎ 245-4313
 休館日 6・11・13・20・27・28日

行事 Information のご案内

- ・おはなしの会 4・18・25日(土) 午前11時
- ・楽しい川柳講座 8・22日(水) 午後1時30分
- ・西行法師の勉強会 14日(火) 午前9時30分
- ・あかりの会 15日(水) 午前10時
- ・朗読ボランティア研修会 15日(水) 午後1時30分
- ・一茶の会 18日(土) 午前9時30分
- ・創作童話の会 18日(土) 午後2時

平成17年度 須高読書感想文 コンクール 入選者発表 《高校・一般の部》

特別賞

須坂図書館長賞	後藤 喜美江	高山村
小布施町立図書館長賞	成沢 未来	小布施町
審査委員長賞	中嶋 登美子	仁礼町

須高読書感想文コンクール
特別賞 審査委員長賞 受賞作品
『ハッピーバースデーを読んで』
仁礼町 中嶋 登美子

話題になった小説を、旬のうちに読んだのは久しぶりでした。新聞にも載っていましたし、朝のラジオ番組で朗読をしていたので、絶対に読みたいと思った本が、この『ハッピーバースデー』でした。「ああ、あすかなんて、本当に生まなきゃ良かったなあ。」と言うことを娘に浴びせる母静代。なんとこの事を言うのだろうと思ったのが最初の感想です。もう私の目には、涙がいつぱいになっていました。

私は、三人の子の母ですが、自分の子育てに自信が持てず決していい親だとは思えずにいたのですが、少なくとも私は子供たちに、こんな冷たいひどい言葉は言っていないという確信が持てなぜかほっとしたのでした。

今思い出してみれば、小学生の頃これに近い言葉を母から言われました。あすかとちょうど同じ年頃の頃です。私の場合出来の良兄弟だけがかわいがられ認められていました。自分はほったらかしにされていると、自覚し始めた時「お姉ちゃんなんていなくていいよね」と言われ、私は家を飛び出しました。プチ家出で、数時間後には戻っていましたが、あの時の自分とあすかが重なり、悲しくて切なくて、読み進む事がためらわれる位でした。あすかの場合心の基地となったのは祖母でしたが、私には父がいました。母からは「お

前は橋の下から拾ってきた」などの言葉がしょっちゅう聞かれましたが、私が泣くたび父は「弟よりお前の方が大事でかわいいいんだよ。」「お前はうちの子だよ。」と声をかけ抱きしめてくれました。大人になって、母は本気で言っていたのではないだろうと思うし、いまさらあの時すごく傷ついていたなどと言うつもりも、母を責めるつもりもありませんが、あすかは私であり、私もあすかになりきり心の中でいいちゃん・ばあちゃんに助けを求めている気がします。私が親になったら、絶対子供を傷つける言葉は言わない、と思っていました。ふと子供をしかる自分の中に、静代と同じ部分が有る事に気づかされぞっとした事実です。私の悲しみなど、あすかに比べれば小さなことと思いつつ、自分とあすかの為に、ただただ涙を流し続けていました。そんな姿が恥ずかしいと思いつつ、涙を止めることは出来ませんでした。

自分がそんなめに合いながらも親になって自分の子供たちに冷たい態度をし、傷つけていた私は、今心から、子供たちがあすかのようにならなくて良かったと思えました。

親業と言う言葉が有りましたが、誰でも親には簡単になれるけれど、親として親業をまっとうする事は本当に難しい事だと思ひ知らされました。

ブルーの装丁もとても美しく素敵だと思いましたが、添えられている白い花が、静代の木として祖母が遅ればせながら植えたこぶ

しだったと気づき、うれしく思いました。

「あすか。怒る時は思いっきり怒れ。悲しい時は思いっきり泣け。我慢なんかするな。感情を殺したら生きる力がなくなるよ。じいちゃんやんが受け止めよう。」という祖父の言葉は、私に向けられている気がしました。私自身が子供達の為に受け止める立場にならなければいけないのに、自分自身が受け止めてくれる人を求めています。やっぱり弱い私は、大人になっても基地を求めていたんだと思い知らされました。でも、我慢なんかないで、悲しい時は泣ける人になりたいと思いました。

あすかは、強くなりました。目を見張るばかりでした。自殺しようとした友達を助けたり、素晴らしい変身だと思えます。それに引き換え、担任の黒沢と父親は情け無き存在でした。あすかのおかげで、友が変わり、父が変わり兄も変わって、祖母も祖父の遺志を継ぐことで生きがいを見つけ、静代も狭い価値観を捨て大きく成長できたと思ひました。

親と子は六十億分の一の奇跡的な出会いという祖父の言葉に、本当に奇跡を感じました。

子育てがほぼ終わろうとしている時期に、この本に出会い、でももっと早く出会っていたらとも思いました。親として、私も少しはましになれたかもしれないと思うのです。

『ハッピーバースデー 命ががやく瞬間』
青木和雄・作 金の星社



家庭料理講座 太巻き寿司づくり

大勢の人をもてなすときの定番メニュー”太巻き寿司”『四海巻き』や『バラ』の太巻きなど、目でも楽しめる太巻き寿司作りに挑戦しましょう。

と き 2月28日(火) 午前10時～正午
 ところ すざか女性未来館 料理実習室
 講 師 浜 岡 一 美 先生
 材料費 500円
 定 員 24名(申込み先着順)
 受 付 2月6日(月) 午前9時から
 申込み すざか女性未来館
 問合せ ☎245-1598



会員随時募集中!!

料 理	おもてなしの会 食生活改善推進協議会 おじいちゃん・おばあちゃんの料理教室
茶 道	つゆの会(表千家) あすなろ(裏千家)
書 道	竹水会
大正琴	さつきの会
和紙絵	つぼみの会 若草会
押し花	押し花クラブ 押し花サークル バラの会
七宝焼	すずらん会

和 紙 人 形	和紙人形グループ
手 ま り	須坂てまりの会
手 編 み	魔法の一本針
縫 い 物	縫う会
家 事 会 計	須坂友の会
母 親 講 座	スコーレ家庭教育振興協会
託児ボランティア	ひまわりの会
絵 手 紙	絵あそび菰の会

すざか女性未来館の登録団体も随時募集しています。詳細はすざか女性未来館までお問合せください。

[問合せ]すざか女性未来館 ☎245-1598

社会教育団体からのお知らせ

第29回 須坂版画集団展

<期 間> 2月19日(日)～26日(日)
 <時 間> 午前9時～午後5時
 (初日は正午より開場、最終日は午後3時に終了します。)
 <ところ> 須坂市公民館 ふれあい
 ギャラリー(2階)
 <問合せ> ☎245-0826(北村嘉朗)

大勢のご来場をお待ちしています。

須坂市文化芸術協会主催

文化講演会のお知らせ

<演 題> 『世阿弥の芸術論』
 <講 師> 須高郷土史研究会会長
 宮 川 孝 男 先生
 <と き> 2月18日(土) 午後5時～6時
 <ところ> 須坂市公民館 3階ホール
 <受講料> 無料
 <問合せ> ☎248-2557(事務局 南沢汎山)

皆さんのお越しをお待ちしています。

社会教育団体の掲示板
れんらくぽ
 原稿の切は5日まで

天気
○月○日